

入間川地区中学校統廃合検討協議会第13回会議録

- ・開催日時 平成26年5月22日（木） 午後7時～午後8時40分
- ・開催場所 狭山市役所6階会議室
- ・出席者 23名 ※欠席者7名
- ・事務局 生涯学習部長 次長兼教育総務課長 学校統廃合担当課長 同担当主査
学校教育部参事兼教育指導課長 学務課長
- ・傍聴者 7名

【会議内容】

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 会長あいさつ
- 4 議 事

※ 議事の冒頭、事務局より、現在までの検討協議会の検討状況及び「入間川地区の中学校の統廃合に関する計画（提言）」の素案についての説明を行った。

（1）学校名について

（事務局）8月頃を目途に統廃合計画の提言をまとめていただきたいため、継続審議となっていました学校名について、本日決めていただきたいと考えています。よろしくをお願いします。

（委員）前回は申し上げましたが、狭山台中のPTAとしては、学校名は狭山台中学校のままでお願いしたいと考えています。

狭山市の場合、基本的に学校名には地名を使っていますし、地名であれば、周りの状況や環境もわかりやすいと思います。隣の小学校も狭山台小ですし、狭山台北小と狭山台南小がなくなり、ここで狭山台中もなくなることになれば、母校がすべてなくなってしまうことにな

ります。また、校名を変えると、校旗や校章、校歌を新しくする必要があり、それなりの経費がかかりますので、そのようなお金があるのであれば、もっと子供達の学校生活や活動に直接関わることに使っていただきたいと考えています。

(委員) 学校名に関しては、前回の会議で全ての委員さんから意見を聞いて、全員ではありませんでしたが、狭山台中のままでいいのではという意見が多かったと認識しています。ただ、今日は新しい委員さんもいらっしゃいますので、あらためて個々にご意見を聴かれたらよろしいのではないのでしょうか。

(議長) 新しい委員さんもいらっしゃいますので、あらためてご意見をお伺いしたいと思います。

(委員) この統廃合は、狭山台中に東中を吸収させるというスタンスなのか、それとも新しい学校をつくるというスタンスなのか。

(事務局) どちらかに吸収するという視点では考えていませんが、学校側としては、中身としては新しいものにするという考えは持っていると思います。

(委員) とはいっても、富士見小や東中としては、狭山台中に吸収されるというイメージがあるのは事実です。統廃合して良かったと思えるものにしていくことが第一前提だと思いますが、これを機に、校名を変えて新たにスタートするという考え方もありますし、名前は変えなくても他の方法でという考え方もあろうかと思えます。統廃合のイメージをマイナスからプラスに変えるために、何か先進的な新しいものを取り入れるというのも、市としての価値を上げることにつながると思うのですが、そういった考えはあるのでしょうか。

(事務局) 人数が増えれば、部活動の数が増える可能性もありますし、校名は別としても、統合することによって、お互いの学校の良い部分を取り入れることも可能ですので、やはり学校の中身は新しく違ったものになってくると思います。

(委員) 狭山台中の名前ありきではなく、例えば校名を平仮名にするといっ

た意見もありますし、そういったことも検討していただければと思っています。

(委員) 30年先を見据えた時、今よりもっと子供の数が減って、学校の数が少なくなっていることも予想されますが、今のうちに狭山市立第一中学校とか第二中学校とかにしておけば、統廃合の検討のたびに学校名で揉めるということはなくなるのではないのでしょうか。

(委員) 学校名は、狭山台中だけではなく、中央中についても検討するのですか。

(事務局) 大半の生徒は狭山台中に通うことになると思いますが、統合先の中学校の名称をどうするかという視点で言えば、中央中も含めて検討していただくことにはなります。

(委員) 前回の会議で、学校名に固執してしまうのは良くない、学校名のことが独り歩きしてしまうと、敵対感情というか、マイナスな部分が大きいといった意見がありましたが、そういった点も踏まえていく必要があると思います。また、狭山台中学校区受入検討委員会でも、来てよかったと思ってもらえるようにするにはどうしたらいいか、そんな中身の議論が肝心だと考えています。校名を変えることによって生じる費用面の話も出ましたが、これについては、なるべく効率的な経費の使い方を考えていただければと思っています。

ちなみに、入曽の中学校の統廃合では、学校名は怎么样了のですか。

(事務局) 入曽の場合、入間中学校が廃校となり、入間野中学校と山王中学校に統合する形をとりますが、両校とも学校名は変更いたしません。

(委員) いずれにしろ、学校名については早く決着していただきたいと思います。

(委員) 東中の保護者の間では、名前は狭山台中のままということで理解している方もいれば、名前を変えて新たにスタートした方がいいという考えの方もいますので、意見を一つにまとめることはできかねます。ただ、校名を変えるために必要な経費分は、子供達の学校生活を良く

するための予算として使うということであれば、学校名を変えてほしいと考えている保護者も多少納得する面はあるのではないのでしょうか。

(事務局) 校名を変更した場合、新たな校歌の作成、外壁などに取り付けられている校名や校章の変更、校旗の新規購入などの費用がかかりますが、その分は、できれば環境整備の費用に回したいというのが市としての見解です。

(委員) 校名の変更は、いろいろな面で難しいというのは承知しているつもりです。ただ、狭山台中では PTA でアンケートを取ったとのことで、時間的な猶予があれば、東中でも一年生の保護者を対象にアンケートを取らせてもらいたいところではありますが、例えば「さやま台中学校」のように、一部を平仮名表記にすれば、それほど変更に伴う予算もかからないと思いますし、イメージ的にも新しい学校ができた感じがしていいのではないかと思います。

(委員) 予算のことや入曽地区の前例もありますし、何よりも学校は地域に根差したものですので、学校名は地区の名称が入った今のままでいいと思います。

(委員) 生徒の人数が増えるというワクワク感があるなかで、新しいスタートを切るというスタンスはとても良いことだと思います。今後は、学校施設などの充実をどの程度図れるか、その一つとして名前を新しくするというのもありなんじゃないかという意見もありましたが、校名変更の必要性については、施設整備の具体的な内容が見えてこない現段階では判断できないと私としては考えています。

過去の統廃合では、どのように施設の充実を図ってきたのでしょうか。

(事務局) 入曽地区の中学校に関して言えば、教室の整備やトイレの洋式化、グラウンドの改修などを予定しています。また、入間野中に関しては、冷暖房工事を予定しています。

(委員) 学校名にこだわるというよりも、新しい学校をつくるということであれば、それをもっと明確に見える化した方がいいと思います。そして、その一つの手法として「さやま台中学校」というやり方もいいの

ではないかと思います。今後はビジョンを明確に示すことが大事だと思いますし、新しい学校になったことをもっと見えるようにして、新しい学校で一緒にやっていくという、子供達にとっての共通の目標があった方がいいと思います。

それと、トイレの洋式化やグラウンドを整備しますと言われましたが、それらが特に新しいものとは思いません。学校名を変えることで費用がどのくらいかかるのか知りませんが、施設の整備がもっと必要であれば、学校名の変更は諦めて施設の整備の方にお金をかけようという判断もあると思いますし、そういったことに関しての説明責任はあるのではないのでしょうか。

(委員) 私は狭山台中のままでよろしいかと思います。狭山台地区にある学校ですので狭山台中でいいと思いますし、富士見から通われる子が多くなるので名前の変更もという話もありますが、狭山市の場合、学校名は基本的に地域の名称をつけていますので、そのままでよろしいかと思います。

中身の充実はもちろん大事なことです。施設の整備や教育方針ということよりも、統廃合に関わる学年の子供達に対して、如何にストレスを感じさせない状況を作り出すか、その点に重きを置いて今後の議論を進めていただければと思います。

(委員) 学校名は地名を使っていると言いますが、東中や西中の例もありますし、とくに一貫性があるとは思いません。それと、校名を変えると費用がかかると言いますが、それくらいの費用を出せないようであれば、施設の整備費用なんか出せるわけありません。学校名を決めるといっても、他の新しい名前は誰も持ち合わせていないと思いますので、結局は狭山台中でイエスかノーかの話になってくると思います。

(委員) 今までの論議をひっくり返すつもりはありませんし、それは時間の無駄だと思います。現状では、校名に関しては地区の名称を使っているということなのだと思います。

いずれにしろ、子供達にあまりストレスがかからないように、統合前に事前交流を行うなど、そういったことを重点的に進めてもらいたいと思っています。

(委員) 学校名に関して、いろいろ考えてはみましたが、新しい良い名前は

思い浮かびませんでした。学校名に関しては特にこだわりはありません。

(委員) 狭山台中と中央中の2校に関して、代わりになる名前を考えるのは無理だと思っています。今ある学校の名前を変えてしまうと混乱する面もありますので、学校名は今のままの方がありがたいです。

(委員) 平仮名表記にする意見がありましたが、それがお互いにとってWin-Winの関係なのかなと思います。

(委員) 私は、東中の廃校に伴う学区の再編と認識していますので、学校名云々に関しては眼中にありません。そのままでもいいと思います。そのことより、私としては今後の施設や環境の充実を望みます。

(委員) 私達で学校名を決めるのは荷が重いと感じていて、なかなか結論は出ないと思いますが、いずれにしろ、統合する子供達が新しいものを作り上げていくためのルールを引くのが、私たちの役目だと考えています。

確かに、学校の名前の付け方に一貫性は無かったのかも知れませんが、狭山台中学校は狭山台中学校のままに来てわけですから、わざわざここで平仮名に変える必要はないと思います。市町村合併とは違いますし、生徒は3年間在籍するのみです。感情論で話す内容ではないと思いますが、学校名を私達で決めるというのはどうなのか、今日結論を出すのはどうなのかという思いはあります。

(委員) 私は、狭山台中学校区受入検討委員会を受け持つ身でありますので、東中や富士見小に関係する方々のお立場を考えると、非常に複雑な心境ではありますが、できれば狭山台中学校のままにしていきたいというのが率直な気持ちです。それと、平仮名にすることに関しては、名案だとは思いますが、結局は変えてしまうことになりますので、それらの解決にはならないのかなと思っています。まずは学校名を決めて、その後の中身の議論のなかで、関係する人達のエネルギーを引き出していければいいのかなと、そんなふうに思っています。

(委員) 東中学校の校長の立場としては、統廃合の対象校でありますので、校名についてのコメントは控えさせていただきます。

(委員) 中央中学校としても、皆様方のご意見でお決めいただければと思いますが、やはり中身の充実が大事ですので、そのことについて今後話し合っていければいいと思っています。

(委員) 入間川中学校としても、学校名については皆さんの総意で決めていただければと思っています。

(委員) 狭山台中学校としても、名称についてのコメントは差し控えさせていただきます。

(議長) 委員の皆様のご意見を一通りお伺いさせていただきましたが、全体的には狭山台中学校の名称はそのままでいいという意見が多かったように感じました。ただ、教育環境など中身の充実が一番重要だという考えでは皆一致していたと思いますので、今後は、そのことについて具体的に検討を進めていければと考えています。

それでは、学校名に関しては現状のままということで合意いただければと思うのですが、よろしいでしょうか。

(委員) 今日決めなければいけない理由はあるのですか。

(事務局) やはり学校名が決まらないと中身の検討にも入っていきませんし、スケジュール的にも8月頃には提言をとりまとめたいたいと考えていますので、是非ここで決めていただきたいと思います。

(委員) 名前が決まらないと中身が決まらない理由は何ですか。

(事務局) これから制服の事を検討するにあたって、やはりまずは学校名を決めていただく必要があると考えています。

(委員) それに関しては全く納得できないというか、理解できません。

(事務局) 今後は、関係する学校間で統合に向けた準備委員会を立ち上げ、具体的な中身について検討していくこととなりますが、まずは名前を決めさせていただき、新しい学校としてスタートするための中身についての議論に入らせていただくということで、ご理解をいただければと

思っています。

(議長) いろいろご意見はあろうかと思いますが、「狭山台中学校」、「中央中学校」の名前のままということで、本日合意いただければありがたいのですが、よろしいでしょうか。

《「異議なし」の声あり》

それでは、校名は現状のままということで、よろしくをお願いします。

(2) 通学路案について

(事務局) 中学校の通学路につきましては、集団登校する小学校の場合と異なり、主だった道路を示し、その示した道路へ向かう道順は、各自の判断に委ねられています。東中学校の通学区域から中央中学校への予想される通学路につきましては、現在の東中学校への通学の方向や経路とほぼ同様であり、狭山台中学校への通学については、方向も経路も異なってくることから、狭山台中学校への予想される通学路案のみを提示いたしました。なお、今回提示した案につきましては、富士見地区及び狭山台地区を担当する交通指導員からも意見を伺っております。

統廃合後の通学路は、平成27年度中にPTAの校外委員さんと学校の安全教育を担当する先生の両方で協議し、学校長が指定するものですので、検討協議会から提示した今回の案を基に、今後も学校において検討されていくものということでご理解いただければと思います。

(委員) 中央中に向かう通学路は、統合までには学校から示されるということでもいいですか。

(事務局) 中央中に関する通学路については、中央中から示されることとなります。

(委員) 狭山厚生病院の所から畑の中を歩いて中央中に向かう道は、東中の通学路としては使われていませんが、その道を整備してもらうことは可能ですか。

(事務局) 要望として今後提言に盛り込むことは可能です。

(委員) 通学路は校外委員さんと学校の先生で協議して決めるということですか。

が、これは狭山台中だけで決めるということですか、東中も入るとい
うことですか。

(事務局) 今後の学校間の調整のなかで、通学路の決め方についても考えても
らうことになると思います。

(事務局) 通学路は最終的には学校で決めてもらうものではありますが、想定
される通学路については、路面標示など安全対策の検討を行い、それ
らについても計画に盛り込みたいと考えていますので、今回、通学路
の案として提示させていただきました。

(委員) 通学路に関しては、私達ではなく、一番詳しい校外さんと学校で決
めてもらうということだと思います。

(議長) 検討協議会で示す通学路は、あくまでも案ということで、最終的に
は PTA の校外委員さんと学校の方で決めていただくということでの
で、よろしくをお願いします。

(3) 保護者アンケートについて

(事務局) 今後実施する予定の保護者アンケートにつきましては、資料のとおり
項目立てをさせていただきました。このアンケートは、富士見小、
狭山台小、新狭山小、東中、中央中、狭山台中の保護者の方々を対象
に行いたいと考えています。

(委員) 記入式の場合、書くのが面倒くさいという理由でリターンが少なく
なると思うので、選択式の方法もあると思うのですが、如何でしょう
か。

(事務局) 入曾でも、このような形でアンケートをさせていただきましたが、
ある程度の枚数は回収できましたので、自由に書ける形でよろしいか
と考えています。

(委員) 通学についてとか、環境整備についてとか、質問の範囲が大きい
のは、幅広く意見を聴きたいということですか。

(事務局) 通学一つとりましても、通学路や安全対策、自転車通学のことなどいろいろあると思いますので、それらに関して幅広く意見をお伺いできればと考えています。

(事務局) このアンケートに関しては、全て提言に入れて公表したいと考えています。

(委員) アンケートの際、資料などは付けないのですか。

(事務局) 今回の通学路案を付けさせていただこうかと考えています。併せて通知文には、検討協議会で合意したことを明記したいと考えています。

(議長) それでは、関係する小中学校の保護者に対してアンケートを行うということで、ご了解いただければと思います。

(4) その他

(委員) 狭山台中学校の校長です。

制服につきましては、今回の素案に示されているとおり、制服検討委員会で検討を進めさせていただきたいと思っておりますので、皆様のご承認をお願いいたします。

(議長) 制服に関しては、学校で立ち上げた制服検討委員会で検討を進めていくということですが、よろしいでしょうか。

《「異議なし」の声あり》

それでは、よろしく願いいたします。

(委員) 統合先の中学校の環境整備は、来年の7月頃から始めることになっていますが、これに関する議論は、今後どの程度重ねていくことになるのですか。

(事務局) スケジュールに記載している統合先の中学校の環境整備は、ハード面の整備を指しています。ソフト面の環境整備についても、意見がございましたら、この提言に盛り込みたいと考えています。

(委員) 学校名もソフトだと思うので、こんなに急いで決める必要はなかつ

たとは思いますが…。

(委員) 私たちは保護者の代表なので、保護者の意見を聴く必要があります。ですから、この検討協議会に関しては、いつ頃、何を話し合うのかをもっと前もって教えてもらわないと、PTAで議題に載せられないわけです。間近になって開催通知を送られても、どうにもならないわけです。

(事務局) 次回の会議につきましては、学校の施設整備の内容などについて、ご意見をお伺いすることになろうかと思えます。また、こういうふうにしてほしいという要望がありましたら、統廃合にあたっての留意事項に盛り込むこともできますし、そういったことも含め、統廃合計画全般についてご検討いただくことになろうかと思えます。

(委員) 平成28年3月までに何を決めなければいけないのか、項目立てとスケジュール化をきちんとしていただければと思います。

(委員) 確認ですが、私達の東中は、なくなることが決まったということではないわけですね。そのように報告していいわけですね。

(事務局) あくまでも正式な決定は、議会で学校設置条例の一部改正の議決を得た時点ということになりますが、この検討協議会の中で、東中学校を廃校とし、平成28年4月にそれぞれの学校に統合するということが合意しているのは事実です。

(委員) 東中の跡地の利用方法に関しては、全庁的な判断によって決めることですが、これについてもスケジュールのアウトラインが決まっていれば、地元で話をすることもできるのですが…。

(委員) 東中の跡地に関しては、道路が通るという話ですよ。

(委員) 都市計画道路になっていますよね。

(事務局) まだ東中の跡地の利用方法は決まっていますが、マスタープランの中で、東中の北側をかするような形で、狭山市駅加佐志線として都市計画道路を整備する方針を示しているのは事実です。

(委員) 跡地の検討は、いつ頃から始まるのですか。

(事務局) 次年度くらいから始まるかもしれませんが、まだわかりません。

(委員) この検討協議会で話し合うのですか。

(事務局) 跡地に関してご意見やご要望があれば、この統廃合計画の提言に盛り込ませていただきますが、この検討協議会の場で検討することではありません。

(委員) 避難所でもある東中がなくなると、地元の自治会としては非常に困ります。

(事務局) 避難所の機能を残すことについては、今までの会議の中でも要望としてありましたので、その旨提言に盛り込む方向で考えています。

(委員) 要望があれば8月までに言わなければならないと思うのですが、次回の会議は、いつですか。

(事務局) 7月に開催する予定です。

(委員) 7月に第14回、8月あたりで最後の第15回の会議をやって提言をとりまとめるということですね。

(事務局) はい。

5 閉 会

【配付資料】

- ◆ 検討協議会第12回会議録
- ◆ 入間川地区の中学校の統廃合に関する計画（提言）～素案～
- ◆ 統廃合に関するアンケート調査票
- ◆ 入間川地区中学校統廃合検討協議会委員名簿